

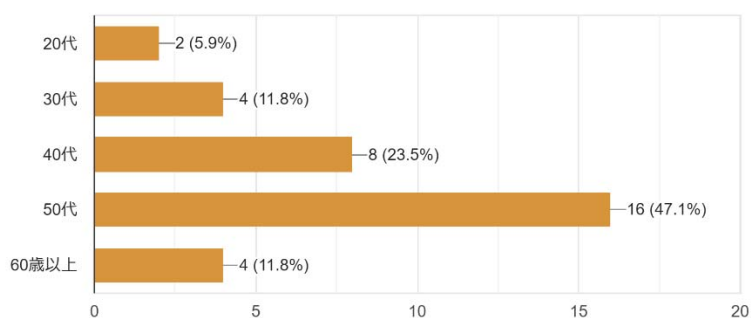
令和4年度、第1回医療・介護合同研修会受講者アンケート結果

令和4年9月26日

申し込み総数 58名

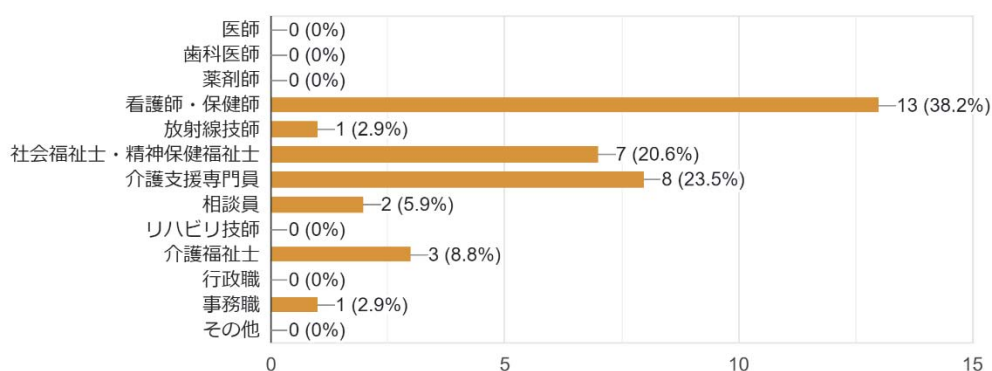
1.あなたの年齢についてお伺いします

34件の回答



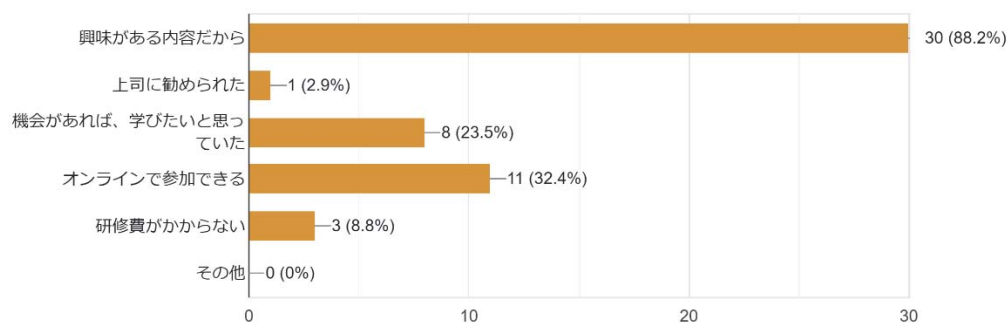
2.あなたの職業について伺います。

34件の回答



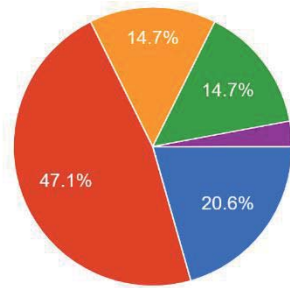
3-1.研修会に参加した理由

34件の回答



4. 講義の内容について

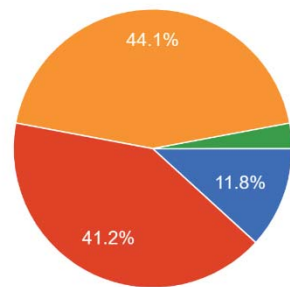
34 件の回答



- よく理解できた
- 理解できた
- 丁度良い
- やや難しい
- 理解できなかった

5. 講義の内容は日常で活用できるか

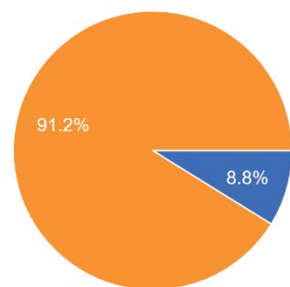
34 件の回答



- 大いに活用出来る
- 活用出来る
- 参考になる
- 活用出来ない

6-1. 研修時間について

34 件の回答

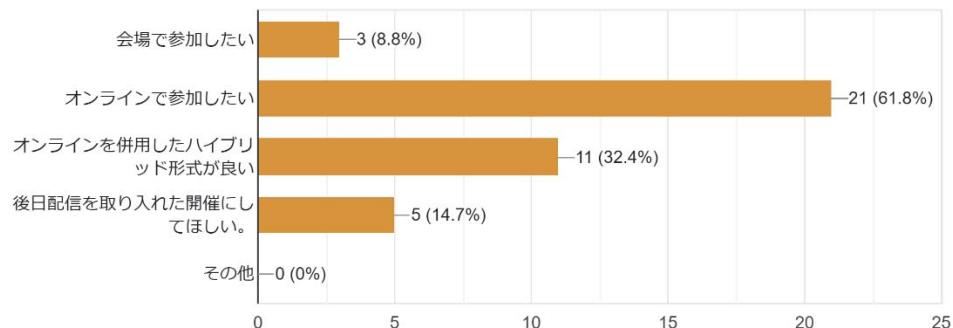


- 長い
- 短い
- 丁度良い
- その他

6-2 その他は、回答がありませんでした。

7-1.今後、希望する研修形態について

34件の回答



7-2.その他と記入された方はご意見ををお願いします。1件の回答

それぞれの分野で縦型の支援ではなく子供から高齢者まで一人の人をトータル的に支援できる体制を豊川市で構築していく必要性を改めて感じました。今話題の重層的支援事業に期待してもいいのでしょうか。発達障害の概念が広がり、福祉サービスを使うために医者意見書が必要な現状で医療機関の役割も重要であり福祉と医療の連携がますます大切になっている今支援者間の更なる連携やよりよい関係性が求められていると思います。

8.研修に関するご意見、ご感想をお願いします。18件の回答

我が子も就労出来ていない現状がありますのでこれからの事をしっかり考えていきたいと思えます。ありがとうございました。ただ残念だったのが、音声聞き辛い時があったことです。次回の講演会も楽しみにしています。

大変興味があり参加させていただきましたが声がかもっているのか、場所のせいなのか何を言っているのか分からなかったです。きっと聞こえていれば勉強になる内容であったと思います。残念でした。

発達障害に興味あり、受けました。理解されにくい障害。仕事の傍ら手話通訳をしています。聞こえない世界の8050問題もあります。聞こえない子ども50代と健聴者の親80代は耳が遠くなり、口の形を読み取ってコミュニケーションをしていた親子が、コミュニケーションが取れなくなったが親の介護をしている人もいます。支援も様々になってきていると思います。

本日はありがとうございました。普段高齢者支援の視点から8050問題に関わりますが、子世代に対する支援が必要と思いますが、ここまで来ている中で、今からどのように支援していけばよいのか分かりません。また、親世代の支援が終了してしまうと、そこで支援自体が止まってしまう事も少なくなく、重層的な、包括的な、支援ができる体制の必要を感じながらも自身がそれに追いつけていない所があります。講義を聞いていて感じたことは、やはり地域のつながりは大切だということです。町内や子供会等加入する事で社会と関われる機会を子供に持たせ、人と接

する事の大切さを感じてもらえたらと思います。幼いころから周囲とのつながりを感じられる地域づくりがやはり必要だと思いました。

介護支援専門員です。事例がとてもわかりやすく、参考になりました。ひきこもりの人に対して、その人を取り巻く家族のストーリーを理解することが支援のポイントとなるということが印象的でした。ありがとうございました。

引きこもり、精神障害がある人への関わり方について学ぶ機会になりとても為になりました。我が子や、その友人、親族間での関わりでも必要になってくると感じました。身近で関わり方に問題が出たときは専門機関に相談しようと思います。今回 zoom にて参加させて頂いたのですが、音声聞き取りにくい部分がありました。こちらの機材不調かもしれないので大変恐縮ですが、またご確認いただければと思います。よろしくお願い致します。

ひきこもりの引き金や家族環境など、とても勉強になりました。ひきこもりの方へのアプローチ、サポートは、とても難しいですが、声掛けの仕方など気をつけて、支援していきたいと思います。

事例から学ぶことで、深く考え、今後の自分の行動について意識していきたいと思いました。ありがとうございました。

普段、仕事としての関わりはないが、事例を交えて具体的にお話されていたので、特別な知識がない者でも聞き入ることが出来ました。ありがとうございました。

個別支援の大切さはもちろんのこと、各世帯を支える地域をいかに作っていくかと考えさせられました。先生の実践のお話はとても刺激になりました。各領域との繋がり、連携をさらに磨いていきたいと思います。ありがとうございました。

自分の所属施設で、どのような対応が可能か？考える機会になりました。行政にも頼る事が多い課題だと思えますので、相談体制を整えて、連携できるように出来たらいいと思いました。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

アンケートには 34 名の方に御協力を頂きました。

退院調整担当者会では、アンケートの結果を踏まえ、今後の研修に活かしていきたいと考えています。今後共、ご協力を願います。

文責：豊川市医師会在宅医療サポートセンター 担当：柳生